



日本共産党文京区議会議員  
**まんだち幹夫** 通信 **週刊**  
 2012年3月9日号 No.233

**'みなさんをいつもまんやかに、'**

区議団控室：5803-1317（直通）

萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

区議会「総務区民委員会」で議論

**「森鷗外記念館」の管理運営を指定管理者に。館長まで請け負った会社の社員を予定!?**

1、2日で行われた総務区民委員会で、森鷗外記念館の指定管理者を決める条例案が提案されました（賛成多数で可決。共産党は区の直営を望み反対）。

事業者は「丹青社」に決定。たしかにこの業界では「実績」があるといえます。しかし、応募してきた6社から企画を提案させて区の選定委員会が1社に絞った決定打は、「指定管理料の相当な縮減提案」が認められてのようです。他の得点は他社と変わらないのに、経費の項目だけで16点も差が出たことがわかりました。事業計画をみると人件費、事業費はあまり変わりません。私が目を止めたのは、入館者数の予測



観潮楼と区を示す記念館のイメージ図

がまったく違うこと。企画の内容にもよりますが、2

3倍も違うのは、なぜか。その

点をよく精査したかどうか質問しても理解できる回答はありません。

さらに、この会社の提案を見ると、「館長」が自社の社員（名前を載せて）をえています。区のシンボルとなるような唯一無二の記念館を、まるで乗っ取られたかのような感じですが、「名誉館長」の形で名の通った人をすすめるのならまだしも、これでもいいのかひきつづき問題を提起していきます。



**まんだち日誌**

1・2日 総務区民委員会、2日目は補正予算の審議。基金の額は、当初の見込みと比べ76億円増えたことを指摘。積立より、防災と福祉を拡充のため活用を。

3日 午前、新聞とニュースを配付。午後急に告別式が入り町屋葬祭場へ。夕方のグルメステイの宣伝は飛び入りでNさんが手伝ってくれました。感謝いたします。夜、会議。

4日 前日と比べて冷え込んだ一日。アパート入居のお手伝いと集金。足の先まで冷えました。

6日 朝、議運。午後、全員協議会と本会議。区長提案の議案36件が議決され、区議団は国保など保険料の値上げ、職員削減の条例など10件に反対。

**「強羅文の郷」は25年度から「岩井学園」は4月 廃止**

同じく総務区民委員会で、「強羅文の郷」を平成25年3月まで、岩井学園をこの4月から廃止する条例が決議されました。まことに残念な結果です - 共産党は反対表明 - 。



「強羅」は区民の利用が減った、ほかに安いサービスがある。岩井学園も健康改善の必要な子は多いものの入園する児童数が減った...など理由づけています。しかし、本質は「経費削減」。予算を使いきらず

多額の基金も残しているのに。残念です。

